

## 2019 年度第 3 回公立大学法人公立諏訪東京理科大学教育研究審議会議事録

日 時 2020 年 2 月 21 日（金）15:30～16:10

場 所 6 号館 2 階第 1 会議室

出席者 小越議長、松江委員、奥原委員、木村委員、大島委員、市川委員、吉本委員（委任状）、大崎委員

（牛山事務部長、濱財務課長、加藤教務・学生支援課長、荻原教務・学生支援課係長）

欠席者 五味委員、三枝委員、伊藤委員、井中委員

### [配付資料]

1. 2020 年度計画 PDCA マネジメント・サイクルについて（資料 1-1）
2. 2020 年度年度計画（検討案）（資料 1-2）
3. 2020 年度予算（案）（資料 2）
4. 2020 年度推薦入学試験実施結果（資料 3-1）
5. 2020 年度一般入試志願者状況（2019 年度との比較）（資料 3-2）
6. 全学的な数学マネジメント推進と新たな推進組織の発足について（追加資料）

### [前回議事録確認]

前回議事録について、議長、市川委員、井中委員により内容を確認したことの報告があった。

### [議 事]

#### 1. 議長・学長挨拶

小越学長から、審議に先立ち挨拶があった。

併せて、今般が今年度最後の教育研究審議会である旨の説明があった。

#### 2. 会議内容

##### (1) 2020 年度年度計画（案）について

小越学長から資料 1 をもとに、2020 年度年度計画（案）について、策定の根拠となる 2019 年度計画の自己評価に際し、事業単位評価基準、指標単位評価基準について、これまで年度計画どおり実施した場合は a 評価としてきたが、評価委員会より指摘があり、計画通りの実施は b 評価とし、それ以上の成果があった場合は、理由を付して a 評価以上をつけることになったこと、2019 年度末に算出される実績値等もあるため 2019 年度自己評価は変更する可能性があること、原案について 3 月 25 日開催の理事会で決定し組合に報告すること等の説明があり、審議の結果、原案を各委員にて確認することとなった。

## (2) 2020 年度予算（案）について

濱財務課長から資料 2 をもとに、既に策定された 5 つの基本編成方針に基づき、2020 年度予算案を作成したこと、2019 年度予算である 2,572,226 千円に対し、2020 年度予算案では 3,046,711 千円を見込み、474,485 千円の増額であること、増額の主な理由として国の制度である高等教育無償化に係る予算として 29,196 千円を見込む等、全体の増減額内訳について説明があった。

## (3) 2020 年度入試状況について

加藤教務・学生支援課長から資料 3 をもとに、2020 年度推薦入学試験実施結果について、情報応用工学科及び機械電気工学科ともに全国卒での倍率が最も大きかったこと、一部大学の医学部医学科において入学者選抜において不適切な事案が発覚したことにより「大学入学者選抜実施要項」が改訂され、文部科学省より公正確保等に向けた方策が示されたことに伴い、本学として公正確保に向けた対応と合否判定を実施したこと、一般入試について、情報応用工学科では志願者 1,085 名であり志願者前年比 1.5 倍であること、機械電気工学科では志願者 1,785 名であり志願者前年度比 2.8 倍と大幅に増加していること等の報告があった。

## (4) 諸報告

### 1) 全学的な教学マネジメント推進と新たな推進組織発足について

小越学長から資料をもとに、本学戦略検討 WG において本学の向かうべき方向性と育成すべき学生像についてビジョン等が提言されたこと、中教審より「教学マネジメント指針」が公表されたこと等に伴い、全学的な教学マネジメント推進のため、教学マネジメントセンターを新設すること、従来の「FD 実施委員会」及び「教学 IR 委員会」を統合し「教学マネジメント推進委員会」を当該センター直下に配置すること等の報告があった。

最後に、小越議長より、本教育研究審議会委員の任期は 2 年間であることから、現委員による審議会は今回までであることの挨拶があった。また、今回の議事録確認者として大崎委員、松江委員の 2 名を小越議長が指名した。

以上